

未来の山づくり協議会

～目的と活動について～

- ・伊賀の山づくりのビジョンと具体案を示すとともに、伊賀の特質を活かした伊賀らしい林業・木材産業、人材育成の仕組みや実践を展開しています。
- ・本協議会には林業関係団体のほか、住民自治協議会が会員として参加し、市民が山の恵みを実感できるしくみをハード・ソフト両面にわたって検討を行い、4つの部会が活動をしています。

4つの部会



環境
整備

木 材
利活用

人材
育成

魅力
創造

環境整備部会

【目的】

長期的な視点に立った、伊賀の山づくりのビジョンと具体策を示します。

【令和6年度主な活動】

自伐林家等支援事業の検討

自伐林家を中心とした林業従事者の森林施業の機械化促進及び安全向上を図り、持続的な林業経営を確立するため、林業機械の導入・レンタル、労働安全の作業の向上、林業研修の受講並びに資格取得に対して支援をするため伊賀市自伐林家等支援事業補助金案の検討を行いました。

補助対象の経費や費目など、実際に林業に従事する部会員から有効な制度になるように意見を出し合い制度案を策定、令和7年度から伊賀市予算に計上し運用をしています。

部会の活動紹介

木材利活用部会

【目的】

現在の社会状況を加味し、伊賀の特質を活かした伊賀らしい林業・木材産業の仕組みを模索します。

【令和6年度主な活動】

市内における伊賀市産材の活用促進に向けて、森林整備の推進による材木の搬出により、木の温もりを感じられる空間の構築し、市民が木に『見る・触れる』機会づくりについて検討を行いました。新制度として「伊賀市テナント・店舗等木質化モデル創出事業補助金」の運用が始まりました。運用状況等を元に、木材の特性、用途に応じた木材の選定などといった伊賀市産木材についての利用の意義を周知し、更なる情報発信、建築物への木材利用について検討をしています。

人材育成部会

【目的】

今後求められる人材と人材育成に必要な施策を明らかにするとともに、仕組みづくりや実践を展開します。

【令和6年度主な活動】

チェーンソーによる安全伐倒研修会

新たに林業に興味を持たれている方、自伐林家の方を対象にチェーンソーによる安全伐倒研修会を開催しました。林業労働災害の現状及び法令、チェーンソー関係の労働安全衛生規則の改正点等及び伐木の基礎技術についての講義、実演による立木伐採の実技指導を実施しました。
(研修参加人数30名)



魅力創造部会



【目的】

市民が山の恵みを実感できるしくみをハード・ソフト両面にわたって検討します。

【令和6年度主な活動】

柘植地域まちづくり協議会

「霊山」魅力創造事業

ミツマタの群生が一望できる高台に木製デッキ等を設置し自家用車での通行をしやすいように路面整備を実施。また柘植小学校6年生と地域住民によりミツマタの樹皮から和紙を作成し、卒業証書に使われました。

布引地域住民自治協議会

仙人養成講座の実施と林床の再利用事業

木工・椎茸菌打ち教室以外に山菜栽培やキノコ栽培に挑戦。三重県林業研究所と連携しオオイチョウダケの栽培にも取り組みました。また自治協でのまつりなどを通して林業の重要性の啓発を行っています。